環境経営レポート

2019

(運用期間:2019年8月~2020年7月)



2020年10月1日 作成

SWEEPING SERVICE 株式会社 スイーピングサービス

目 次

- 1. 会社の概要
- 2. 事業内容
- 3. 環境経営方針
- 4. 環境経営目標
- 5. 2020年度環境経営計画
- 6. 環境経営計画の取組結果とその評価
- 7. 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無
- 8. 代表者による全体評価と見直しの結果
- 9. 施設等の状況
 - (1) 収集運搬車両の状況
 - (2) 積替え保管施設の面積と保管上限量
 - (3) 処理施設の種類等
 - (4) 処理工程図
 - (5) 処理実績(受託した産業廃棄物の処理量)
- 10. 環境活動への取組み

1. 会社の概要

【会社名】 株式会社スイーピングサービス

【代表者】 代表取締役 田邉 昌志

【設立】 1973年(昭和48年)7月20日

【資本金】 3,000万円

【売上高】 660,273千円(2020年7月期)

【従業員数】 42名

【事業所、敷地面積】

(a) 本社 東京都あきる野市瀬戸岡360番地1

298m TEL. 042-597-6112

(b) 日の出事業所 東京都西多摩郡日の出町平井15番地10

801m TEL. 042-597-6111

(c) 立川支店 東京都立川市曙町2丁目2番22号プラウドタワー立川1701号 55㎡ TEL. 042-527-2066

(d) 汚泥処理施設 東京都西多摩郡日の出町平井26番地1

3, 842m TEL. 042-597-6112

【エコアクション21対象事業所】 全社

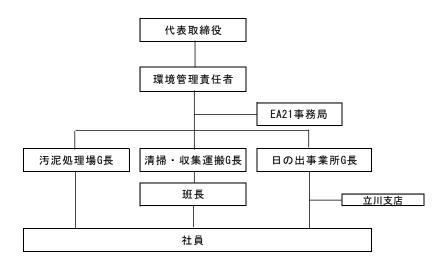
【環境管理責任者及び事務局】

環境管理責任者 取締役 小林 秀次

事務局 田平 大悟 佐原 有加

TEL. 042-597-6111 FAX. 042-597-6115

【実施体制】



<代表者>

- ・環境経営方針を定める
- ・環境管理責任者を任命
- ・資源(人材・資金・技術)の用意
- ・環境経営システム等の見直し

<環境管理責任者>

- ・環境経営システムの総責任者
- ・環境経営目標の設定と決定
- ・システムの実績を代表者に報告

<EA21事務局>

- ・全体計画の立案
- ・文書の作成・管理
- 教育の実施
- ・システム運用上の事務管理
- ・外部情報の受付窓口

<G長>

- ・部門の活動計画立案 (PDCA)
- ・実施状況の確認・報告

く班長>

・活動計画の実施とまとめ

く従業員>

- ・環境経営方針の理解と環境への 取組みの重要性を自覚
- ・自主的、積極的な環境改善への 取組み

2. 事業内容

【事業内容】 (1) 廃棄物処理業務

産業廃棄物の収集・運搬(積替え保管含む)、中間処理(汚泥) 一般廃棄物の収集・運搬

(2)清掃·維持管理業務 道路公園、建物、路面、貯水槽、浄化槽、管渠、厨房、 グリストラップ、清掃下水道管漏水・TVカメラ調査、 処理施設の保守管理

【優良性基準適合認定】

認定の区分	産廃エキスパート							
業の区分	収集運搬業(積替え保管含む)	中間処理業						
認定番号	3-18-B0085	3-18-C0080						
有効期間	平成31年4月1日~平成34年3月31日							

【許可の内容】

<産	「 」	運搬業>			許可品目										
No	都道府県 ・政令市	許可番号	許可年月日	有効期限	燃え殻	汚泥	廃油	廃プラ	紙くず	木くず	繊維 くず	金属くず	リート・陶磁器	鉱	がれき類
1	東京都	13-10-005352	平成31年2月1日	令和8年1月31日	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
2	神奈川県	01400005352	平成29年8月30日	平成34年8月21日		•	•	•	•	•	•	•	•		•
3	埼玉県	01101005352	令和1年10月27日	令和8年8月27日	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
4	千葉県	01200005352	平成30年1月4日	平成34年11月20日		•	•	•	•	•	•	•	•		•
5	山梨県	01900005352	平成30年10月23日	平成35年10月22日		•		•	•	•	•	•	•		•
6	栃木県	00900005352	令和2年5月29日	令和7年5月28日		•	•	•	•	•	•	•	•		•
7	群馬県	01000005352	令和2年6月8日	令和7年6月7日		•	•	•	•	•	•	•	•		•
8	福島県	00707005352	令和2年6月12日	令和7年6月11日		•	•	•	•	•	•	•	•		•
9	茨城県	00801005352	令和2年7月21日	令和7年7月20日		•	•	•	•	•	•	•	•		•
<産	業廃棄物処分	業>													
10	東京都	13-20-005352	平成28年7月23日	令和3年7月22日		•									
<-	-般廃棄物収集	運搬業>			許可品目										
11	11 福生市 第3112号 令和2年4月1日 令和4年3月31日					事業系一般廃棄物									
12	瑞穂町	瑞生許可第12-3号	令和2年9月20日	令和4年9月19日	紙くず・木くず・浄化槽汚泥										
13	青梅市	許可収·運第68号	令和2年10月1日	令和4年9月30日	事業系一般廃棄物 (紙くず・木くず)										
14	檜原村	2許可第1号	令和2年4月1日	令和4年3月31日	道路の清掃により発生する廃棄物										
15	羽村市	許可一廃収第31号	令和2年9月26日	令和4年9月25日	事業系	系一般	廃棄物	勿(紙	くず・	木く	ず)				
16	日の出町	31日生第14088号	令和2年4月1日	令和4年3月31日	浄化槽	汚泥、	道路・	公園及	び河川の	の清掃に	こより多	発生する	る廃棄物		
17	あきる野市	あ環生収第321号	令和2年4月1日	令和4年3月31日	浄化槽	汚泥、	道路・	公園及で	び河川の	の清掃に	こより多	発生する	る廃棄物	他	
18	奥多摩町	第3号	平成30年10月29日	平成32年10月28日	事業系一般廃棄物 (紙くず・木くず)										
<-	-般廃棄物処分	業>													
19	日の出町	30日生第6002号	平成30年12月1日	平成32年11月30日	破砕タ	い理 (木くす	ド)							
<建	築物飲料貯水	槽清掃業登録証明書>							•	備	考				
20	東京都	9貯第1429号	平成30年4月10日	平成36年4月9日											
<建	設業許可>								3	業の区	分				
東京都知事 21 東京都 許可(般-28) 平成28年8月15日 平成33年8月14日 第115850号					土木工事業、とび・土木工事業、管工事業、造園工事業、 水道施設工事業、解体工事業										
<浄化槽保守点検業者登録通知書>										備	考				
22	東京都	浄保 (9) 第230号	平成30年2月25日	平成35年2月24日											
23	23 八王子市 八浄保 第19-9号 平成30年2月25日 平成35年2月24日														
< 注	化槽清掃業許	可証>							-	備	考				
24	あきる野市	あ環環収第303号	令和2年4月1日	令和4年3月31日											
25	日の出町	31日生第14086号	令和2年4月1日	令和3年3月31日											

3. 環境経営方針

環境経営方針

<環境経営理念>

株式会社スイーピングサービスを中心とする企業グループは、産業廃棄物収集運搬・ 処分業及びその周辺事業を通じて、地域社会の「持続可能な生活環境の創造」に貢献する 企業を目指します。地域環境に負荷をもたらす既存の経営手法にとらわれず、企業 グループ全体で革新的な経営手法を考え実践してまいります。

<行動指針>

- 1. 環境経営の継続的改善 エコアクション21を積極的に運用し、環境経営の継続的改善に努めます。
- 2. 法令遵守 当社業務に適用される環境関連法規等を遵守します。
- 3. 環境活動への取組み

当社の事業特性を踏まえ、以下の環境活動に重点的に取組みます。

- (1)環境負荷の削減 省エネルギー・省資源
- (2)環境取組の推進・向上 エコドライブの推進 リサイクルの推進 環境美化の推進 グリーン購入の推進
- 4. 実施態勢の確立と環境教育

エコアクション21の機能を効果的・効率的に推進していくために、社内の実施 態勢を確立し全社員への環境教育に努めます。

5. 環境経営目標の設定

この環境経営方針を達成するために、環境経営目標を設定し、定期的に見直し 環境改善に努めます。

制定日 2014年1月1日改定日 2020年6月1日

株式会社スイーピングサービス

代表取締役 田邉 昌志

4. 環境経営目標

施策		****	E //	w /I	2017年度	2018年度		2019年度		(20	中期目標	或)	
施	策	項目	区分	単位	実績	実績	目標	実績	評価		2021年度		
		二酸化炭素排	出量削減(*)	kg-C02	215, 086	238, 176	253, 020	244, 877	-	127, 194	125, 922	124, 663	
					2019年度目	標比	100.0	96. 8%	0	-	-	-	
		軽油燃料 消費量削減	清掃·収集 運搬	Q	60, 149	62, 823	65, 150	64, 643	-	13, 772	13, 634	13, 498	
					2019年度目	標比	100.0	99. 2%	0	-	-	-	
			汚泥処理場	KWh	81, 209	117, 314	136, 192	105, 970	-	121, 348	120, 135	118, 934	
					2019年度目	標比	100. 0	77. 8%	0	-	-	-	
		電力 使用量削減	日の出 事業所	KWh	42, 144	41, 360	41, 395	41, 121	-	47, 207	46, 735	46, 268	
	1.1省エネルギー・省資源				2019年度目	標比	100.0	99. 3%	0	-	-	-	
	十 一 百 頁 //		計	KWh	123, 353	158, 674	177, 587	147, 091	-	168, 555	166, 870	165, 202	
1. 環境負荷					2019年度目	標比	100. 0	82. 8%	0	-	-	-	
の削減		上水使用量 削減 化学物量の 削減 (固化材/酸化 カルシウン	汚泥処理場	m³	1, 686	1, 032	1, 367	1, 128	-	1, 354	1, 340	1, 327	
					2019年度目	標比	100.0	82. 5%	0	-	-	-	
			日の出 事業所	m³	445	428	434	450	-	497	492	487	
					2019年度目	標比	100.0	103. 7%	Δ	-	-	-	
			計	m³	2, 131	1, 460	1, 801	1, 578	-	1, 851	1, 832	1, 814	
					2019年度目	標比	100.0	87. 6%	0	-	-	-	
			汚泥処理場	kg	672, 000	552, 000	-	1, 019, 000	-	1, 019, 000	1, 008, 810	998, 722	
					-	-	-	#VALUE!	-	-	-	-	
	1.2 自社 廃棄物排出量	一般廃棄物 削減	全社	kg	746	554	633	702	-	667	660	653	
					2019年度目	標比	100. 0	110.9%	×	-	-	-	
	2.1グリーン 購入の推進	グリーン購 入率の向上 (金額)	全社	%	31. 4	87. 9	購入の 定着	77. 0	0	馬	首		
	2.2受託した 産業廃棄物 の環境配慮	3Rの推進	汚泥処理場	-	処理設備 の設置及 び稼動	処理設備の 安定操業	処理設備 の 安定操業	処理設備の 安定操業	0	無機系残渣物を減 し、二次処理委託 を減らす		委託量	
2. 環境取組 の推進・向上	2. 3環境美化	生活環境 影響評価 (騒音・臭気)	汚泥処理場	-	各月実施	各月実施	測定実施 と規制値 内の確認	各月実施	0	各月実施			
	の推進	地域貢献 活動	全社	-	年12回 実施	年12回 実施	地域清掃の実施	年12回実施	0	年12回実施			
	2.4清掃業務 (道路、下水 等)の向上	作業効率 の向上	清掃·収集 運搬	-	-	-	QCサークル による日々 の作業の改 善活動	新型コロナ対 応で3月以降、 行えなかった	Δ	作業時	効率化を 特間短縮! 竟負荷の(こよる	
	2.5全従業員 の参加	教育・ 説明会	全社	-	3ヶ月毎に 中間 報告	3ヶ月毎に 中間 報告	自らの役 割と責任 の自覚	3ヶ月毎に 中間報告	0	3 7 月	環境負荷の低減 3ヶ月毎に中間報		

^{(*):}二酸化炭素の排出係数は、東京電力エナジーパートナー株式会社の2017年度排出係数0.462kg-C0./kmを使用した 汚泥処理場の高圧電力は2019年12月からシン・エナジー株式会社の平成30年度排出係数0.592kg-C0./kmを使用 日の出事業所の低圧電力は2020年2月から株式会社ウエスト電力の平成30年度排出係数0.407kg-C0./kmbを使用

環境負荷の実績









5. 2020年度 環境経営計画

<環境経営活動方針>

1.社員ひとり一人が参画意識を持ち、活動計画を実行し、環境活動に積極的に取組むこと。 中間報告や活動報告を増やし個々の意識を向上させ、環境への取り組みの更なる活性化を期待する。

2.活動にあたっては「PDCAサイクル」を回すこと。

【P:計画の	策定】				【D:計画の実施】
	活動項目	目的	目標値	担当部門	・ 実施方法 (詳細は個別活動計画参照)
		軽油燃料消費量削減	13, 772 ∟	清掃· 収集運搬G	1) エコドライブ推進、省燃費運転講習参加 2) 暖気運転の短縮・中止 3) 「燃費」の管理
		電力使用量削減	47, 207KW h	日の出 事業所G	1) 事務室・食堂の空調温度の管理 (出来る 限り、空調設備の使用を控える) 2)窓を開けて換気、温度調整をする 3)室内の照明一昼休み消灯、倉庫は使用時のみ
	1.1省エネルギー・ 省資源	电力读用重剂减	121, 348KW h	汚泥 処理場G	1) 電気の見える化による消費電力の管理 2) 管理事務室の空調温度の管理 3) 管理事務室消灯チェック確認表への記入
1. 環境負荷 の削減	EX#	上水使用量削減	497 m²	日の出 事業所G	1) 節水の呼びかけ表示 2) 節水の周知徹底、節水を心掛ける。 3) 節水コマ、節水パッドの点検
O) Fij Ny.		工小 区 用里削减	1, 354m²	汚泥 処理場G	1) 日の出事業所G (1~3) に同じ 2) 再生水汲み上げポンプの定期点検 3) 洗車時間を守る
		化学物質使用量の削減 (固化材/酸化カルシウム)	1, 019, 000kg	汚泥 処理場G	1) 汚泥受入槽の汚泥を上水と分離させる 2) 出来るだけ乾いた汚泥を使用する 3) 造粒固化機での固化材供給量の調整
	1.2 自社廃棄物排出量	一般廃棄物削減	667kg	全社	1) 分別の徹底 2) ミスプリントの防止 3) 再生紙コピー紙の裏紙利用推進
		産業廃棄物削減	リサイクル促進	全社	1) 発生時リサイクルの徹底
	2.1グリーン購入の 推進	グリーン購入 比率の向上 (金額ベース)	購入の定着	全社	1) 本当に必要か、必要な時は環境のことを 考えて購入する。 2) 新規購入時のエコ商品検索
	2.2受託した産業廃棄 物の環境配慮	3Rの推進 (持出量の削減)	無機系残渣物を 減量し、二次処理 委託量を減らす	汚泥 処理場G	1)分別の徹底 2)滅量方法を摸索し、設備導入の検討
2.環境取組 の推進・	2. 3環境美化の推進	生活環境影響評価 (規制値内の確認)	騒音、臭気測定の実施	汚泥 処理場G	1)騒音測定(月1回)、臭気測定(月2回) の実施
向上		地域貢献活動	地域清掃の実施	全社	1)地域清掃の実施 (毎月)
	2.4清掃業務(道路、 下水等)の向上	作業効率の向上	環境負荷の低減	清掃· 収集運搬G	1) 作業前ミーティング、KY活動の実施 2) 現場での従業員教育を行う 3) 作業の効率化を図り、作業時間を短縮する
	2.5全従業員の参加	自らの役割及び 責任の自覚	教育・説明会の開催	全社	1) 環境経営方針の周知 2) 定期中間報告

【PDCAサイクル】

P: 計画の策定 (Plan)

活動方針を踏まえ、活動項目、目的、担当部門、実施方法、その時期を決めること (責任者) 活動計画を全社員に周知する (環境管理責任者)

D:計画の実施(Do)

実施方法=個別活動計画・進捗管理表の「具体的施策」を実行すること(社員全員)

C:取組状況の確認及び評価(Check)

毎月初に前月の進捗状況と目標達成状況を評価し、月次営業会議で報告する(責任者) 3ヶ月毎に進捗状況と目標達成状況を評価し、月次営業会議で報告する(環境管理責任者)

A:全体の評価と見直し(Action)

前月及び今後の取組み状況が未達の場合、「具体的施策」を見直す(責任者、環境管理責任者)

6. 環境経営計画の取組結果とその評価と2020年度の取り組み

(1)軽油燃料消費量の削減

- ・軽油燃料消費量は目標を達成出来ました。(99.2%) 達成出来た要因は個々がエコドライブを意識し実行出来たこと。冬場の暖機運転が減った事です。 また、取り組みの呼び掛けを継続的に行い効果が現れました。
- ・エコドライブ講習の受講割合は累計で64.5%となりました。コロナウイルスの影響により講習会は中止となっていますが再開次第、全員の受講を目指します。
- ・2020年度は業務の変動を受けにくい路面清掃に関わる車両に特定し、消費量削減に取り組みます。 他の車両もエコドライブ、アイドリングストップを継続します。

(2) 電力使用量の削減

- ・日の出事業所は目標を達成出来ました。 (99.3%) 1年を通して窓を開けての室温調整、梅雨明けが遅く冷房の使用が減りました。 また1、2階エントランスの照明を人感センサー式に変更したので点灯時間が減りました。
- ・汚泥処理場も目標を達成する事が出来ました。(77.8%) 大きな要因は消費電力の大きい一部設備の稼働方法を見直した事で使用量が削減出来ました。
- ・汚泥処理場ではディスプレイでの管理 (電力使用量の見える化) により無駄な電力の削減に 繋がっています。
- ・2020年度はコロナウイルス感染防止対策を継続していくので、電力使用量は増加傾向に あるが、経営計画を実行し目標の達成に努めます。

(3) 二酸化炭素排出量の削減

- ・軽油燃料・電力使用量ともに目標値を下回ったので、二酸化炭素排出量は目標を 達成する事が出来ました。(96.8%)
- 二酸化炭素総排出量は325,330.9kg-C02となりました。

(4) 上水使用量の削減

- ・汚泥処理場(82.5%)は目標を達成する事ができ、日の出事業所は103.7%となりました。
- ・汚泥処理場では定期的なパトロールと声掛けの効果で、従業員の意識が高まり削減に繋がりました。
- ・2020年度もコロナウイルス感染防止対策でこまめな手洗いを励行するので使用量は増えますが、 節水に取り組み、使用量削減に努めます。

(5) 化学物質使用量の削減

- ・2019年度は使用量の計測をし、使用量の大半を占めていたのが固化材でした。
- ・2020年度の取組みは固化材の使用量削減とし、目標達成に努めます。

(6)一般廃棄物の削減

- ・当活動項目は目標を上回りました。(110.8%)。
- 年末の書庫の整理より破棄する書類が多く、シュレッダーゴミが増えた事が主な要因です。
- ・2020年度も同様に削減に取り組みます。また、裏紙使用の推進を図り目標達成に努めます。

(7) 産業廃棄物の削減

- ・自社産業廃棄物は発生していません。
- 今後発生の際は、リサイクルの促進に取り組みます。

(8) グリーン購入の定着

- ・グリーン購入を定着させることを目的に取組んでいます。
- 2020年度も同様に取り組みます。

(9) 3 Rの推進

- ・「持出量の削減(処理委託量の削減)」をテーマとして建設した有機系汚泥残渣物の 処理施設は順調に稼働し、持出量の削減に繋がっています。 また、無機系汚泥残渣物の減量を目的とした設備を増設しました。
- ・2020年度も3Rを推進し、取り組んでいきます。

(10) 環境アセスの実施

- ・自社による騒音測定(月1回)・臭気測定(月2回)を汚泥処理施設で行い、基準値を 超える値は測定されませんでした。
- ・東京都環境確保条例の規制基準を遵守していることの確認を目的とします。

(11)地域貢献活動

- ・対象エリアを3区域に分けて毎月清掃を行い、地域の住民から好評を得ています。
- 2020年度も同様に取り組みます。

(12)教育·説明会

- ・3ヶ月に一度、中間報告を行い積極的に環境活動に取組むよう促しました。
- 2020年度も同様に取り組みます。

(13) カーボンオフセットへの取り組み

- 2011年度以降、事業活動に伴うCO₂排出量の一部をカーボンオフセットしています。
- ・バウンダリ (対象範囲) は、廃棄物処理工場の稼働、清掃維持管理、事務所、営業車両で使用したエネルギーから発生するCO2排出量とし、国内クレジットを行っています。
- 2019年度はCO2排出量は314,270kg-CO2、CO2償却量は315,000kg-CO2でした。
- 2020年度も同様に取り組みます。

7. 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

・「環境法令等遵守チェックリスト」にもとづきチェックを行った結果、環境関連法規への 違反はありません。なお、関係当局より違反等の指摘は、過去3年間ありません。

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

- ・2019年度は一般廃棄物の排出量を除き、目標を達成する事が出来ました。 未達であった一般廃棄物の削減に関しては、突発的な書庫の整理によるもので、 通常の取組みならば目標達成できたと考えます。
 - 全体的に取り組みは浸透し、PDCAサイクルがしっかりと回せていると感じます。
- ・2017年版ガイドラインへの移行審査を終えました。今後も本業を通じた環境経営を行い、環境負荷の低減に取り組んで参ります。

9. 施設の状況

(1) 収集運搬車両の状況

車両の種類	積載量	台数	環境保全対策等	排ガス規制適合車	ECOドライブ	
	3t	2				
	4t	2				
吸引車	5t	1	密閉式タンク車			
	8t	1			0	
	10t	3		0		
	2t	2		O	O	
ダンプ車	7t	1	シート掛け等			
	10t	1				
トラック	2t	1				
アームロール車	4t	2	_			

(2) 積替え保管施設の面積と保管上限量

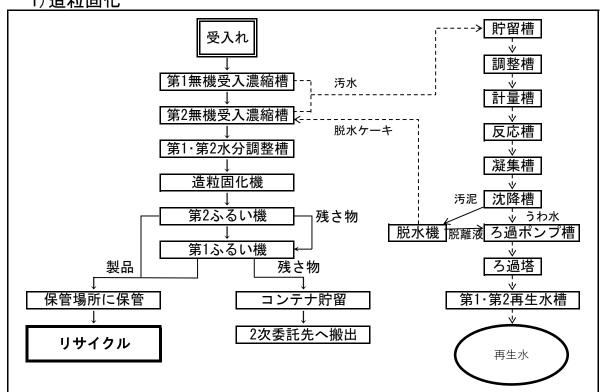
積替え保管施設の面積	保管上限量					
	廃プラスチック類	8㎡コンテナ1個	8m³			
	紙くず	同上	8m³			
	木くず	同上	8m³			
3, 842. 21 m²	繊維くず	同上	8m³			
	金属くず	同上	8m³			
	ガラス·コンクリー ト·陶磁器くず	同上	8 m ³			

(3) 処理施設の種類等

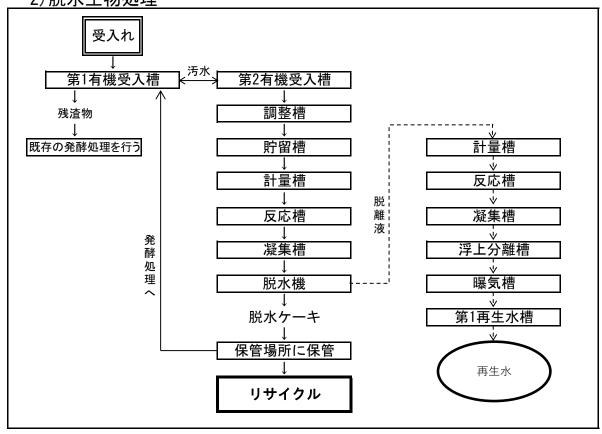
施設種類	産業廃棄物の種類	処理能力
造粒固化	汚泥(管渠清掃, 道路・公園等の清掃に係るものに限る)	240㎡/日
脱水生物処理	汚泥 (有機性のものに限る)	8m³/日
回転乾燥	汚泥(自社処理後のものに限る)	7. 2㎡/日
発酵	汚泥(有機性のものに限る)	5. 04㎡/日

(4)処理工程図

1) 造粒固化

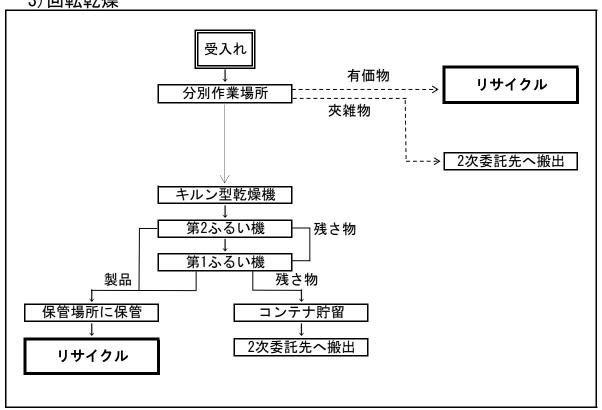


2) 脱水生物処理

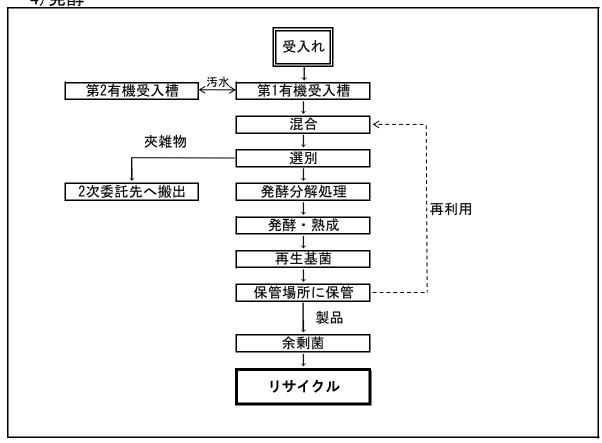


(4)処理工程図

3)回転乾燥



4) 発酵



(5)処理実績/受託した産業廃棄物の処理量

					処理量(t)					
	処理方法等	F	廃棄物等種類	処分方法等	2017年度 H29年8月~H30年7月	2018年度 H30年8月~H31年7月	2019年度 H31年8月~R2年7月			
廃 棄 物	(i)収集運搬		浄化槽汚泥		1, 557	1, 515	1, 333			
			廃プラスチック類	/	10	6	4			
			紙くず		10	9	9			
			木くず		0	0	0			
	(i)収集運搬		繊維くず		0	0	0			
	(1) 权未连测		金属くず		0	0	0			
			ガラス他		33	4	10			
			廃油		171	167	172			
			汚泥		8, 358	7, 682	8, 857			
			合計		8, 582	7, 868	9, 052			
	(ii)中間処理		汚泥		10, 381	9, 384	10, 670			
	内、 再資源化等		汚泥		5, 667	9, 334	10, 721			
産			合計		10, 381	9, 384	10, 670			
産業廃	(iii)最終処分		_		9	16	7			
棄物			合計		9	16	7			
		最終処分	汚泥	安定型最終処分 (委託)	275	250	34			
			汚泥	管理型最終処分 (委託)	9	16	7			
			小言	†	284	266	41			
			汚泥	リサイクル	4, 623	4, 417	5, 631			
			汚泥 (肥料用)	製品化	23	2, 346	1, 170			
	(iv)中間処理後 の産業廃棄物		汚泥 (肥料用)		97	87	110			
		再資源化等	汚泥 (コンクリー ト固化用)		643	583	80			
		行交/// 10 寸	廃プラスチック類	再資源化 (委託)	49	36	44			
			木くず		191	308	370			
			ガラス・がれき類		614	660	818			
			小言	†	6, 240	8, 437	8, 223			
			合計		6, 524	8, 703	8, 264			

10. 環境活動への取り組み

電気の「見える化」による省エネの取組



節水の呼びかけ表示、周知徹底



エコドライブの推進



処理場での騒音測定の実施



道路の側溝清掃作業の様子



毎月行っている近隣の清掃活動



[ホームページ]

詳細な事業活動に関する内容は、下記のホームページに記載しています。

URL: http://www.sweeping.co.jp

[連絡窓口]

当社の環境活動や本レポートへのご意見、ご質問等がございましたら、下記の エコアクション21事務局までご連絡ください。

エコアクション21事務局

メールアドレス: eco21@sweeping.co.jp 電話: 042-597-6111 FAX. 042-597-6115